

四国大会実施規定

(四国軟式野球連盟)

少年部

1. 正式試合について

- ①試合の回数は7回戦とする。
- ②正式試合となる回数を5回とする。
- ③5回以降7点差以上になった場合は、コールドゲームを適用する。
- ④5回以前に暗黒、降雨等により試合が継続不可能となった場合は特別継続試合とし、翌日または後日行う。

2. 登録選手について

25名以内とする。

3 指名打者制度について

公認野球規則 5.11 を採用する。但し、大谷ルールは採用しない。

4. 延長戦について

- ①7回を完了して同点の場合は、8回よりタイブレークとする。
 - ②試合開始後、2時間30分を経過した場合は、新しいイニングには入らずタイブレークとする。
- ※タイブレークとは
- 継続打順とし、前回の最終打者を一塁走者、二塁の走者は順次、前の打者として無死一、二塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。

5. 投手の投球制限

[少年部]

- ①同一日に投手が投球できる球数を100球以内とする。
- ②投球中100球に達した場合は、当該打者の打席完了または攻守交代までとする。

6. その他

- ①日没、天候等諸問題がある場合は、大会本部役員並びに審判員等により運営方法について協議し決定する。
- ②本規定にない事項については、全日本軟式野球連盟競技者必携に準ずるものとする。